



# 議会だより

令和3年  
**11/1**  
第169号



道下選手・陶山議長

**道下美里選手  
金メダル  
おめでとうございます。**



決算特別委員会	50P
9月定例会リポート	53P
議決結果一覧	55P
個人質問	56P
意見交換会・議事日程	62P



# 太宰府市の お金の使い方をチェック

**Q** コミュニティバスまほろば号の内山線は、乗車人数が11万人も減少しているが、予定通り今年度に市外者の運賃を2倍にするのか？

**A** 新型コロナウイルスの影響で観光客が減少しており、運賃改定のタイミングを見計らっていきます。



**Q** 各校区自治協議会と各自治会における補助金を活用する事業等の実施状況は？

**A** コロナで事業ができない状況であり、防災関係の備蓄品の購入などに補助金をあてていますが、例年よりも繰越額が若干増えているようです。

**Q** 自治会におけるコロナ対策補助金の使い方は、公平・公正なものとなっているか？

**A** 金額が大きい場合は市役所担当課へ相談もあり、複数社の見積もりを取るようお願いしています。

**Q** 平成30年度から令和2年度にわたり保育園の待機児童数は90名前後と変化がないが、どのような待機児童対策をしてきたのか？

**A** 既存保育園の定員増や、各施設の受け入れ人数を増やすなどを行いました。



**Q** コロナ禍におけるゴミの排出状況はどうなっているか？

**A** 可燃ごみについては減少しましたが、家の片づけにより燃えないゴミ・粗大ごみが増加した分、全体的には前年度比約31t、約0.15%の増加になりました。



**Q** プレミアム商品券に関して、だざいふペイが使えるキャッシュレス対応店舗の普及状況は？

**A** 利用可能店舗は225店舗です。

**Q** だざいふペイについて、市外の購入者と宰府地区(参道周辺)での利用状況について？

**A** 市外の購入者は通常が10~20%のところ45%でした。宰府地区での利用状況は20%程度を予想していましたが10%未満でした。



**Q** 観光宣伝費(約282万円)の効果の検証を行っているか？

**A** 県の物産振興会が主導する事業であり、観光プロモーションの効果を検証するデータはありません。



# 決算審査 特別委員会

## 令和2年度 各会計の決算を認定しました

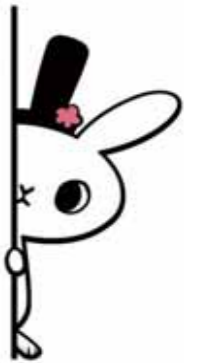
令和2年度決算特別委員会が、8月25日・9月13日・14日に開催され、一般会計、4特別会計、2公営企業会計について審査を行い、9月17日の本会議において認定・可決されました。



### 令和2年度 一般会計・特別会計決算書

単位:円

会計別	歳入	歳出	差引残額	
	決算額(A)	決算額(B)	(A-B)	
一般会計	34,232,401,010	32,862,322,124	1,370,078,886	
特別会計	国民健康保険事業	6,846,724,993	6,759,668,293	87,056,700
	後期高齢者医療	1,314,738,069	1,261,546,018	53,192,051
	介護保険事業	5,321,482,882	5,292,489,587	28,993,295
	住宅新築資金等貸付事業	4,221,918	1,090,497	3,131,421
合計	47,719,568,872	46,177,116,519	1,542,452,353	



### 令和2年度 公営企業会計決算書

単位:円

会計	科目	決算額	会計	科目	決算額
水道事業	収益的収入	1,468,235,926	下水道事業	収益的収入	1,939,055,833
	収益的支出	1,251,266,726		収益的支出	1,478,671,222
	収益的収支	216,969,200		収益的収支	460,384,611
	資本的収入	25,338,700		資本的収入	265,556,130
	資本的支出	482,873,033		資本的支出	881,365,821
	資本的収支	▲457,534,333		資本的収支	▲615,809,691

※:不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

### 令和2年度 市債・基金残高

単位:千円

区分	R元年度末	R2年度末	増減額
市債	22,765,960	21,854,253	▲911,707
基金	5,234,042	4,913,742	▲320,300



# 9月 定例会レポート

○令和3年第3回定例会(令和3年8月25日～9月17日)24日間

## ○条例の改正

- ◆個人情報保護条例を改正します。  
⇒デジタル庁設置に関連した法律の改正に伴い、条項のずれ等を整理するものです。〈議案第47号〉
- ◆マイナンバーに関する条例を改正します。  
⇒デジタル庁設置に関連した法律の改正に伴い、条項のずれ等を整理するものです。〈議案第48号〉
- ◆手数料条例を改正します。  
⇒法律の改正に伴い、マイナンバーカード再交付手数料(料金の変更はなし)の規定を定める必要があることから改正するものです。〈議案第49号〉
- ◆表彰条例を改正します。  
⇒顕著な功績を収め市民の誇りとなる個人又は団体に対し授与される市民栄誉賞が創設されました。〈議案第55号〉

## ○令和3年度一般会計補正予算(第5号)

◆予算総額は歳入・歳出それぞれ13億8,854万9千円を追加し280億9,072万2千円になりました。

費目	補正予算額	主な事業と予算額
総務管理費	6億643万円	公共施設整備基金積立 5億円 財政調整資金積立 2,900万円
企画費	818万円	コミュニティバス運行支援 500万円
選挙費	▲3,537万円	市長選挙予算組み替えのため減額
	▲4,727万円	市議会議員選挙予算組み替えのため減額
	5,450万円	市長・市議会議員選挙同日執行のための費用
社会福祉費	2億8,839万円	地域福祉のための基金積立 2億5,000万円
児童福祉費	8,869万円	園児安全確保事業補助金 280万円
保健衛生費	2億5,856万円	抗原検査キット配布事業 495万円
		パルスオキシメーター貸出事業 198万円 コロナワクチン接種事業関係費 2億3,380万円
商工費	4,550万円	誘客事業(クーポン券)補助 3,350万円 事業持続化支援事業 500万円
道路橋梁費	3,471万円	市道陥没対策 1,280万円
		街路灯LED化 1,360万円
都市計画費	2,021万円	公園整備 2,021万円
教育総務費	1,455万円	学校教育予備パソコン購入 1,405万円
小学校費	2,294万円	水城小学校仮設校舎整備 2,000万円
社会教育費	1,181万円	中央公民館トイレ洋式化 537万円
		文化財倉庫撤去、移転 502万円
保健体育費	865万円	学業院中、太宰府東中武道場置交換 865万円

Q 太宰府市日本遺産活性化協議会補助金約1,227万円の用途は？

A 観世音寺のバーチャルリアリティの制作、パンフレットの増刷、ホームページの更新などに支出しました。



Q 再審査となっている日本遺産「古代日本の『西の都』」の状況は？

A 現在のところ、事務局である福岡県が主導して再審査に備えています。

Q 大宰府展示館の入館者減少に伴い、入館料を無料に戻す検討はあるのか？

A 現在は推移を見守っているところです。令和3年度の決算が出る頃に、再度協議を行いたいと考えています。

Q 成人式を中学校単位で実施したことの検証は？

A 費用はほとんど変わりませんでした。コロナ対策として密を避けて分散するメリットがある一方、体育館のトイレなどの設備が使いにくいデメリットがありました。



Q ふるさと太宰府応援寄付金の約4億円に関して、なぜ多額の寄付を集めることができたのか？

A 一概に理由を特定するのは難しいのですが、福岡県産品の17品目が県内どこの市町村でも取り扱えるようになったことが一番の理由ではないかと思えます。

Q 令和2年度の一般会計決算に関して、市長・執行部が黒字と利益還元ばかりを言っているのに対して、監査委員は冷静に分析をされているが、なぜこうも評価が異なるのか？

A 監査委員の意見も大変重要な指摘だと考えています。私どもとしては、歳出の増加も予想されますので、市民に還元をしていくことと、将来への備えを行っていくことを説明しているところです。

Q 令和3年度の繰越金に関して、「財政調整資金にしっかりと積み増すべきではないか」という意見が複数の議員からあったが、見解を伺う。

A 市の理想的な形として基金にどれくらいの額が必要なのか、そうした大枠の議論もさらに活発にやっていきたいと思っています。



Q 会計年度任用職員に伴う人件費の増額約4億6千万円に関して、今後どのように考えるべきか、見解を伺う。

A いまままでの物件費としてではなく、人件費及び職員給与費として認識していきたいと思っています。

Q コロナに伴う新しい生活様式で上水道使用量が増えており、今後もこの傾向がつづくと思われるが、この増加分についての見解を伺う。

A コロナに伴う収益の増加については、今後の動向を見ながら対処していきたいと考えます。





**問** 不登校児童・生徒に寄り添った対応を



**Q** ①6月議会でも不登校児童・生徒について質問したが、今回は不登校から抜け出そうとしている児童・生徒に、教育委員会が学校や教師へのような指導をしているのかを問う。

**A** 理事 ①市教育委員会では、学校などの不登校に関する意識を更に高め、学校が家庭と効果的な連携を図ります。教員の資質向上を目指して、県教育委員会や、学校と連携しながら、経験年数に応じた研修や、専門的な研修を実施しています。

った事態とならないように教職員の資質向上の取り組みを充実させます。



②児童・生徒に教職員の思いが伝わらず、傷つけてしまうケースも報告されており、学校の管理職が調査、指導、児童・生徒のケアを行います。不適切な発言の状況や内容によっては処分の対象になることもあります。そういう

**全質問項目**  
◇本市教育委員会の学校現場における教師の指導、対応について

**Q** 我が国の65歳以上の高齢者人口は、3600万人を超え、人口の27%を占め、毎年増加傾向にあることに伴い社会保障費が急増し、国の負担が肥大化することが懸念される。健康寿命をいかに延ばすかが新たな課題となる。太宰府長寿クラブ連合会では、健康・友愛・奉仕の目標を掲げ、自立した生活を送ることを目的とされている。3点伺う。

**A** 部長 ①昭和43年に太宰府町老人クラブ連合会として設立され、平成8年に現在の太宰府市長寿クラブ連合会と改称し、現在は、24クラブ、会員数1260名となっています。

②課題については、会員数、加入団体の減少が挙げられますが、年金受給開始年齢が上がり、それに伴い就労している高齢者が増加していることや、ライフスタイルの多様化などが影響していると考えられます。支援対策については補助金を交付し有効に活用していただいています。

**全質問項目**  
◇高齢者問題について  
◇公共施設維持管理について



**問** ポストコロナの観光戦略を立て直せ



**Q** 令和3年版観光白書によると、国内旅行者数は対前年度50%減、インバウンドは87%減と本市の観光低迷を裏付けている。同書は観光トレンドがコロナ後には感染予防を重視したものに変わると予測しており、本市も観光戦略を立て直しが必要である。2点伺う。

**A** 部長 ①本市の観光戦略は、平成31年3月策定の太宰府市観光推進基本計画に基づき進めてきました。新元号令和、コロナ感染症の影響を織り込み今年5月には追加変更を行い、宿泊施設の充実、コロナ禍における誘客に取り組んできました。今後も日本遺産「西の都」関係7

市町をはじめ、近隣自治体、関係団体と連携してポストコロナ観光のあり方を検討していきます。



太宰府天満宮参道

②コロナ後の観光モデルとなる太宰府方式をつくるため行政はどのような支援ができるか。

②観光客向けクーポン券の発行、ユーチューブを使った観光プロモーション事業などに注力

**全質問項目**  
◇ポストコロナ時代を見据えた観光戦略の立て直しについて



**問** 長寿クラブ連合会の現状と行政支援は



③求人情報等を広報に掲載するとともに、家事支援業務などの担い手研修も行いながら、可能な限りの人材の育成等にも努めています。

**全質問項目**  
◇高齢者問題について  
◇公共施設維持管理について



**問** 水城跡をどう整備する



**Q** 国の特別史跡である水城跡は、特別史跡水城跡保存整備基本設計が定められている。太宰府関連史跡に関する保存方針では、水城跡の一体的整備、緑の計画的管理、回遊拠点の整備、地域との連携が謳われている。2点伺う。

**A** 部長 特別史跡水城跡保存整備基本設計は、市の総合計画に基づき平成26年度に本市、大野城市、福岡県と連携のうえ議論し、適切な管理下で再整備を行うことを目的に、身近で親しみのある水城跡として未来に継承することを主眼として定めたものです。現在はまち・ひと・しごと創生総合戦略の中に位置づけており、さらに策定中の文化財保存活用地域計画の整備計画としていきます。

①これまでの成果と課題  
②今後の市の史跡整備方針



特別史跡水城跡

①成果として水城館の設置や樹木の計画的管理が挙げられますが、回遊性の向上については大野城市や福岡県、さ

**全質問項目**  
◇太宰府市文化財保存活用計画について  
◇本市の道路整備計画について



**問** 国保税対象者の負担軽減継続か新規案を望む  
**藤井 雅之** 議員



**Q** 国民健康保険税及び事業について2点伺う。

**A** 部長 ①前年の収入は確定申告で把握できますが、本年の収入を市は把握できず、該当する被保険者を特定できませんので、相談や申請を受けてから減免を行うこととなります。感染防止や利便性を図るため、相談は電話やメールで、申請は郵送で受け付けています。



② 太宰府市独自の負担軽減策については、1年限りの独自策という形にせず、来年度以降も何らかの形で負担軽減策を継続あるいは新規か別の形で行うべきと考えられるが見解を。

② 市独自の軽減策には恒久的な財源が必要で、軽減策維持のために被保険者の負担が増えることにもつながります。来年度以降については、本年度国保事業の財政状況を見た上で判断をしたいと考えています。

**全質問項目**  
◇国民健康保険税及び事業について  
◇「3つの工程と7つのプラン」への市長の認識について

**全質問項目**  
◇自治体DX推進計画について



**Q** 本市でもDXの推進を図り、独自のデジタル社会形成を戦略的に構築することが急務であると実感するが、デジタル社会形成に向けた取り組みについて3点伺う。

**A** 理事 ①総務省の自治体DX推進手帳を受け、各自治体ではDXの推進が求められています。本市でも各種取り組みを進め、庁内で情報共有を行い、押印見直しなど、新たなデジタル技術活用の検討を進めています。

**問** 太宰府市における自治体DX推進計画は  
**堺 剛** 議員



② これまで得た知見、人的ネットワークを十分活用しながら文書情報課をはじめ関係各課とともにDXを推進します。

\*自治体DX…デジタル技術を活用した行政サービスの改革。単なるデジタル化ではなく、デジタル技術を手段として活用することで、社会のあり方を変革する取り組み。



**問** 徹底した行財政改革で中学校給食を実現せよ  
**小畠 真由美** 議員



**Q** 中学校給食を実現させるための財源確保に向けた行財政運営の取り組みについて、2点伺う。

**A** 市長 ①補正予算で、公共施設整備基金に5億円が積み立てられた。中学校完全給食の全員喫食に係る基本方針を策定するフェーズに入ったと捉えてよいのか。



② 中学校給食を実現させる上で、大きな課題は財政問題である。本市の財政見通しと、多くの行政課題に挑むために、今何が重要か。

② ふるさと納税や「梅」プロジェクトなど、歳入増加策だけではなく、行政改革等による市政運営諸経費の見直しなどの歳出削減策もあわせ、両面から取り組む必要があると考えています。行財政計画などの策定や公会計制度の活用などを進めて

**全質問項目**  
◇中学校給食を実現させるための財源確保に向けた行財政運営の取り組みについて



**問** SDGsの理念を活かした市政を  
**入江 寿** 議員



**Q** 内閣府は自治体における計画策定でSDGs(\*)の要素を地域の優先課題に反映させることなどの重要性を提言しているが、本市の施策や計画にどのように反映していくのか、次の5点について伺う。

**A** 市長 ①SDGsに対する市長の認識、考えは、②2015年からの5年間、太宰府市のSDGsに対する取組は、③総合計画や施策に対応させる考えは、④職員の認識、市民への周知は、⑤本市のSDGsに対する今後の取り組みは、



**全質問項目**  
◇本市におけるSDGsの取り組みについて

\*SDGs(持続可能な開発目標)…貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるために設定された、世界共通の17の目標。



**問** 市民の命を守ってこそ  
わが町  
笠利 毅 議員

**Q** コロナ感染症の流行は、政府が中等症でも自宅療養を原則とすると言い出さざるを得なかったほどで、命は自助で救えと言われたに等しいと受け止めた。市民の命を守るまちであるためには知っておく必要があると考え、5点伺う。

**A** 部長 ①県の方針により、市に提供される情報は県のホームページ掲載のものと同等で、市では把握できません。

- ②入院困難者数も把握できません。
- ③往診やオンライン診療について県内医師会の協力体制整備が進められていません。搬送や入院調整は県の業務で、要請があれば職員を積極的に派遣し支援していきます。
- ④令和元年度までの5年間は9人から14人で推移し、令和2年度は、6人と半減しています。
- ⑤外出自粛期間等の影響もあり、令和元年度15

人、2年度11人と減少傾向です。



**全質問項目**  
◇コロナ禍の先、まちをどのように  
つくっていくか



**問** 中学校完全給食実現へ  
具体的「意志」を示せ  
かどた 直樹 議員

**Q** 中学校完全給食は実現されるべきというのが太宰府市積年の共通認識である。しかし市は財源を理由に一度これを放棄し、以後「ランチサービスの実」が続く。財政の改善にはしばしば痛みが伴うゆえ事前の説明が不可欠だが、そのような話は聞かない。

**A** 市長 ①市は財源や課題の調査研究を進めてきました。今回、公共施設整備基金に5億円を積み、中学校完全給食を今後実現していきたいという意思表示です。

- ②長年の市民の願いを現実のものとするのが答えと考えています。
- ③ふるさと納税などによる歳入増加、市の運営経費見直し等による歳出削減にこれまで以上に取り組みます。
- ④積み立てた基金は、中学校完全給食実現のためにも大切に活用したいと考えています。

### 中学校給食



**全質問項目**  
◇中学校完全給食の実施について  
◇都市公園の管理について



**問** 減災対策で災害の  
最小化を  
原田 久美子 議員

**Q** 減災対策について3点伺う。

**A** 部長 ①公民館及び共同利用施設のうち、地震の際の避難所としているものは昭和57年以降（新耐震基準）に建築された施設で、それ以前の施設は風水害時の避難施設としており、災害の種類に応じて区分し安全確保に努めています。

- ②太宰府小学校前、御笠川流域の朝日橋から白川橋にかけて、樹木と土砂の撤去を県に対して強く要望してほしいが市の見解は。
- ③太宰府小学校の通学路について、五条交差点から白川橋の河川横を通るルートに変更される理由は。

危険でした。特に傘をさす雨の日はさらに危険が増します。地元自治会、小学校の各地区委員との協議の結果、御笠川沿いの遊歩道を通る通学路が了承されました。



- ②ご指摘の箇所を確認したところ、樹木が大きく成長し土砂の堆積が進んでいるように見受けられます。再度那珂県土整備事務所に要望します。
- ③元の通学路は観光バスや乗用車が多く往来し、歩道のない区間は

**全質問項目**  
◇減災対策について  
◇信号機について



**問** コミュニティセンター  
の新設を  
みやはら 伸一 議員

**Q** 本市にはコミュニティセンターがない校区がある。市として設置の方向性について市長の考えを伺う。

**A** 市長 現在、校区自治協議会の地理的状况や自治会数、人口などを考慮の上、既存の公共施設を利用したセンター設置や職員を配置してセンター機能を充実させるなどの要望が上がっています。これを受けて「にしのまどぐち」を開設したほか、10月下旬からマイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアで住民票など各種証明書を発行できるようにします。これからのコミュニティセンターの在り方については、それぞれの校区協議会と協議を行いながら、さらなる検討を重ねてまいります。



コミュニティセンター

**全質問項目**  
◇コミュニティセンターの設置について



# 令和3年意見交換会について

太宰府市議会では、市民の皆さまと現議員との意見交換会を開催するため準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスのまん延により、やむなく開催を取り止めることといたしました。

1日も早く新型コロナウイルスが収束することを願っております。

ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 令和3年第4回定例会の日程(予定)

**市長・市議会議員選挙が12月12日に実施されるため、**  
今回は11月9日(火)14時～が議会初日となります。

初日以外の会議は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
11/7	8	9(14時～)	10	11	12	13
		本会議 市長提案 理由説明		本会議 質疑 委員会付託	総務文教 常任委員会	
14	15	16	17	18	19	20
	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	
21	22	23	24	25	26	27
		勤労感謝 の日	本会議 委員長報告・討論 採決			

### 傍聴について

感染症対策を実施しています。  
マスクを必ず着用してください。  
本会議場の傍聴人数は通常51名ですが、状況により入室可能な人数を少なくすることがあります。  
詳しくは議会事務局までご確認ください。

### ◇編集後記◇

令和3年12月12日(日)に市議会議員及び市長選挙が開催されます。

したがって、現議会広報特別委員での「議会だより」の編集も今回(169号)が最後となりました。

約4年間のご愛読、誠にありがとうございました。

太宰府市も昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染収束への道が見えない中、議会も試行錯誤で議員活動、本会議や委員会などの議会運営を行ってまいりました。

皆様も制限された生活の中で大変なご苦労をされていると思いますが、コロナに負けず、一人ひとり、今まで以上に気を付けて頑張ってください。

次回からは、新たなメンバーでの広報紙編集作業に取り組めますが、今後ともご愛読いただきますよう委員会一同よりお願い申し上げます。

(久)

### 議会広報特別委員会

委員長 原田 久美子  
副委員長 木村 彰人  
委員 藤井 雅之  
委員 橋本 健  
委員 入江 寿  
委員 笠利 毅  
委員 柳原 莊一郎

